

令和6年度2学期始業式式辞

1か月あまりの夏休みが終わりました。こうして元気にみんながそろってうれしく思います。2学期も加計小の目標、校長先生からの3つのミッションに向かって、取り組んでください。

かんがひ かんがひ  
関係づけて考える

**気づいて考えて やってみる!**

自信(じしん)

校長先生からのミッション 1

自分たちも、おうちの人も、地域の人も  
みんながハッピーになることをいっしょに見つけて  
実行しよう!

いっしょに  
ハッピー!!  
いっしょに  
元気!!

校長先生からのミッション 2

季節(きせつ)を感じ、  
心が動いたことを  
俳句(はいく)にしよう!

ことばを  
味わ(あじわ)いする!

ひらがなのことば  
くみよみ漢字のことば

校長先生からのミッション 3

本を読もう!!  
自分にあつた本の出会い方  
をみつけよう

たくさん読む  
いろいろな  
種類を読む  
本の世界を  
楽しむ

知りたい!ために  
読む  
学校でも  
家でも読む

「自分をみかく」ことを  
意識(いしき)してみよう

道具で、表面をけずりながらみがいていきます。

がんばらないとみがけません。  
逃げてはみがけません。  
「しんどいけど...」「たいへんだけれど...」

2024パリ(フランス)  
オリンピック・パラリンピック

どんなことを思いましたか?

★チームだからこぞできた「勇気(ゆうき)づけ」  
★自分を「最後まで」まで信じる

さて、1学期の終業式の時に、「自分をみかく」という話をしました。皆さんはこれから磨けば輝く宝石のようなものですが、がんばらないと自分は磨けない、逃げては磨けません。それはしんどくて、大変なことでもあります。夏休みにも、自分みがきを意識して、目標を決めてがんばってほしいといいましたが、それはできましたか。また学級で担任の先生やお友達に話をしてみてくださいね。

「自分をみかく」ことにかかわって、この夏の「パリオリンピック」のことをお話します。皆さんも、テレビなどでオリンピックのを見たことでしょうか。私もテレビの前で応援しました。その中で、印象的だった2つのエピソードを紹介합니다。後でどんなことを思ったか話してもらおうと思いますのでそのつもりで見てください。

※日本体操男子・スケートボード男子の競技、選手のコメント動画を視聴する。

さて、皆さんはどんなことを思いましたか。近くの人と少し話をしてみてください。(その後)では、誰か発表してくれますか。

2年生:日本の選手が金メダルを取ることができてよかったと思います。

6年生:一人一人の選手もがんばっていたし、チームで支えあっていたと思いました。

そうですね。同じビデオを見て、感じたことは違っていいですね。私が感じたことはこの2つです。「チームだからこぞできた勇気づけ」「自分を最後まで信じること」—この「チーム」と「自分」について、これから皆さんにがんばってほしいこととお話したいと思います。

チーム(クラス)と自分

みんなの集まり

- ・ なかよし
- ・ 楽しい
- ・ 協力(きょうりょく)
- ・ 互(た)いに助けあう
- ・ ...

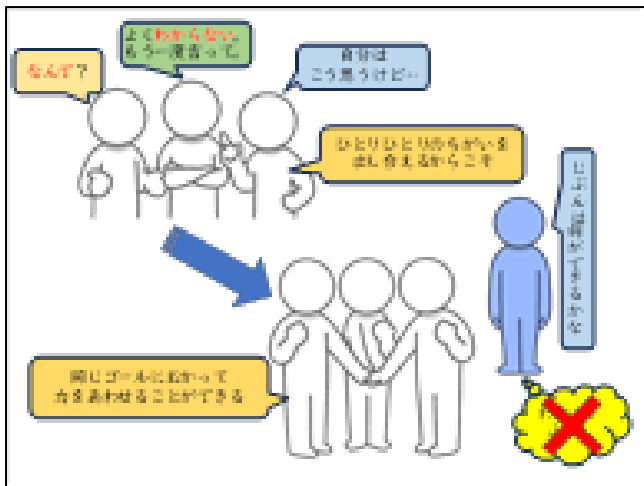
一人一人の自分

- ・ できる/できない
- ・ 好き/嫌い
- ・ やりたい/やりたくない
- ・ ...

みんなからこぞ話し合おう

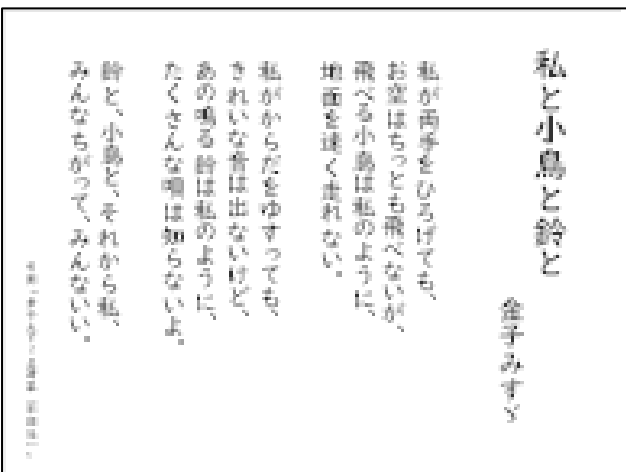
学校でも皆さんはいろいろなチームに入っています。学級(クラス)も大きなチームです。では、どんなチームがいいと思いますか。「なかよし」「楽しい」「協力できる」「助けあえる」など思い付きますが、なかなかそうはいかないものです。では、自分はどうでしょう。「できることできないこと」「好きなこと嫌いなこと」「やりたいことやりたくないこと」「得意なこと苦手なこと」それぞれありますし、一人一人違います。

その違い人の集まりが「チーム」です。だから最初からうまくいくわけではない。違うからこそ話し合うことが必要なのですね。



話し合うということについてもう少し詳しく話します。例えば、何かについて話し合っているとき、自分の考えを伝えることは大事です。普段、授業でもそうしていると思います。その時に、すぐに「いいです」とか「わかりました」と言ってしまうことはどうでしょう。私も子どもの頃、教室ではいつもそうしていました。わかっていなくても「わかりました」と言っていました。でもクラスの全員がみんな全く同じ考えであるでしょうか。よくわからなかったり、自分と違うなと思ったりすることもあるでしょう。そんな時に「なんで?」と聞くことはとてもいいですね。また、「よくわからないな。もう一度言ってみて」というのも大賛成です。そうやって、違う考えを出し合って、そのわけを聞いたり、納得いくまで「わからない」と言えたりすることが大事だと思うのです。それを繰り返すからこそ「同じゴールに向かって力を合わせることができる」のです。ではそんなチームで「自分」はどうすればいいでしょうか。このチームで「自分は何ができるかな」と考えることです。わかったふりはダメです。チームのためになりません。「なんで」とか「わからん」と言える人こそチームの宝です。これから学級でのお勉強が始まります。先生方も子どもたちが「わかったふり」していないかなと思いつながりながら授業を進めてください。どの教室でも「なんで」や「わからん」がちゃんと言え人が増えることを期待しています。

最後に、金子みすゞさんの詩を紹介して終わります。皆さんも出会ったことがあるのではないのでしょうか。この詩の最後のフレーズ「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい」今日の私の話はここにつながります。加計小の皆さんにはこの続きにこの言葉を付け加えてほしいと思っています。



「みんなちがって、みんないい  
みんなちがって、だからいい」



2学期も102名と先生方でがんばりましょう。